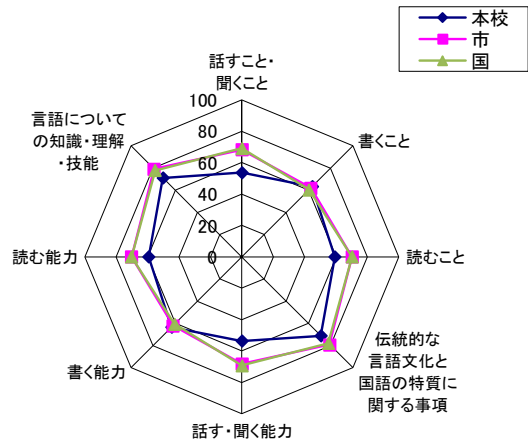


# 宇都宮市立富屋小学校第6学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

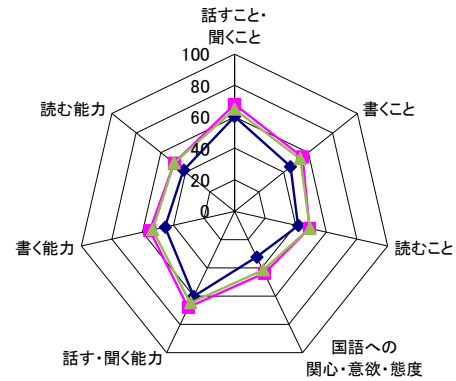
### 【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	53.7	68.2	69.2
	書くこと	63.4	62.0	60.6
	読むこと	59.3	70.2	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.2	79.1	78.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	53.7	68.2	69.2
	書く能力	63.4	62.0	60.6
	読む能力	59.3	70.2	70.2
	言語についての知識・理解・技能	71.2	79.1	78.0



### 【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	60.2	68.0	64.9
	書くこと	45.4	55.3	53.4
	読むこと	41.5	49.0	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	32.5	43.9	41.7
	話す・聞く能力	60.2	68.0	64.9
	書く能力	45.4	55.3	53.4
	読む能力	41.5	49.0	49.2
	言語についての知識・理解・技能			



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○目的や意図、場に応じた言葉遣いを考えることについては、県や全国の正答率と同等だった。 ●相違点や共通点を整理しながら捉えることや、スピーチメモのよさを捉えることについては、県や全国の正答率を下回った。	・聞き方の学習では、相手の話の目的や意図を捉え、その理由や根拠を考えながら内容を聞き取ることが大切である。自分の考えとの共通点や相違点、関連して考えたことなどポイントを意識させながら繰り返し聞く機会をつくる。
書くこと	○手紙の構成を理解し、後付けを書くことについては、県や全国の正答率を上回った。 ●目的や意図に応じて文章全体の構成を考えたり、必要な内容を整理して書いたりすることについては、県や全国の正答率を下回った。	・書く目的や意図に応じて伝えたい内容が十分に伝わるように留意させ、文章を書く活動を多く取り入れる。 ・書く目的や意図を明確にするために、文章を書く前によく整理することが大切である。構想メモをつくらせ、事実や感想、意見、理由、根拠などを整理し、筋道の通った文章を書けるようにする。
読むこと	○物語文において、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることについては、県や全国の正答率と同等だった。 ●目的に応じて文章の中から必要な情報を見つけて読むことについては、県や全国の正答率を下回った。	・説明文の学習では、話題の中心(主題)は何か、筆者はその中心となる話題について、どのように考え、何を伝えたいのか、などについて捉えることが必要である。そのため、キーワードやキーセンテンスを見付ける学習を通して、内容を理解させる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読み書きについては、県や全国の正答率と同等のものが多かった。 ●同音異義語について気を付けて漢字を書くことについては、県や全国の正答率を下回った。	・漢字の読み書きについて、引き続き復習の機会を設け、授業と家庭学習で繰り返し練習し、定着を図る。 ・同音異義語や間違いやすい漢字の読み書きについて、調べたり練習したりする機会をつくり、定着を図る。